

令和6年度 第4回 佐藤小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年2月6日（木） 9時00分から11時00分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 尾上 弘、酒井 里江子、伊藤 安男、湯山 紀美代、磯部 栄里子、一ノ瀬 正行
4. 欠席委員 安富 小織
5. オブザーバー 神谷 匠（東部協働センター コミュニティ担当）
6. 学 校 伊藤 千恵（校長）、高木 康泰（教頭）、大石 葉子（CS担当）、
坂倉 祥子（CSディレクター）
7. 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 CSディレクター 坂倉 祥子
10. 議長の選出

尾上会長が議長を務めることを申し出、全員異議なく承認した。

11. 前回熟議の確認

教頭より、前回の会議録をもとに説明と確認が行われた。

12. 協議事項

- (1) 令和6年度学校関係者評価（「いじめ防止基本方針」についてを含める）
- (2) 令和7年度学校運営の基本方針
- (3) 学校運営協議会の自己評価

13. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和6年度学校支援活動の取り組みについて

議長の指示により、CS担当から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

尾上委員 挨拶運動に参加した際、子供たちの表情やアイコンタクトを通して良い変化を感じた。

音楽発表会では子供たちの「自発的に動きたい、良い方向に進めたい」という意識が伝わり、これらは学校生活での変化や、学校への安心感がある事への1つの表れだと感じる。

湯山委員 挨拶運動を通じて子供たちの良い変化を感じた。以前とは異なり、子供たちの方から明るい顔で挨拶をしてくる事が増え、嬉しく思った。

磯部委員 佐藤小学校には小さい学校だからこその良さがたくさんある一方で、卒業後、大きな社会に出たときに順応出来るのかなど不安もある。その中で、来年度以降に予定している人間関係づくりの授業に期待しており、その取り組みによって子供たちがどう成長していくかが楽しみ。

伊藤委員 「挨拶」は最初に出てくる言葉であり基本。相手の表情をうかがえる機会でもあり、対話の糸口としても大切な事だと思う。子供たちと地域住民が互いに安心して挨拶が出来るよう、地域と学校をつなぐ活動がもっとできたら良い。また挨拶を含め、家庭や保護者の意識改革が必要だと感じる。学校側でもだめなことはきちんと注意し、褒めるときはしっかり褒めてあげられる教育をしていただき、親・地域・学校が協力して、しっかりと子供たちを見ていく必要性を感じる。

熟議の結果、挨拶を大切にし、子供をきちんと褒めてあげられる環境にするには、親だけでなく、地域・学校の協力が不可欠だという結論に至った。

(2) 令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より、令和7年度学校運営の基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

伊藤委員 グランドデザインを回覧などを通じて地域や保護者に発信することで、学校や教育活動への理解が深まるのではないかと。

熟議の結果、令和7年度グランドデザイン、いじめ防止基本方針については説明のあった方向性で進めていく事、回覧を用いた発信については学校側で検討していく事を承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価

口頭にて自己評価について話し合い、別紙資料にまとめた。

14. 報告

(1) 令和6年度学校支援活動の取り組みについて

教頭から別紙資料に基づき、学校支援ボランティアの活動報告や次年度に向けての課題について説明があった。

(2) 夢育やらまいか事業について

教頭から、夢育やらまいか事業についての報告、説明があった。

その他報告事項

教頭から今後の学校公開について、参観会2月14日(金)・卒業式3月17日(月)の案内があった。

また、来年度の学校運営協議会委員の交代と、第1回学校運営協議会を4月22日(火)13時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。